

第**64**期

ZAOH LETTER

2019.4.1 ▶ 2020.3.31

私たち蔵王産業は、
クリーンな労働環境や生活環境づくりに積極的に関わり、
高品質な環境クリーニング機器を提案、提供する企業です。

● 売上高

7,079 百万円

前 期 比

1.9 % 増



● 経常利益

1,070 百万円

前 期 比

4.7 % 減



● 自己資本比率

86.1 %

前 期 比

0.6ポイント減



● 1株あたり純資産

1,933.16 円

前 期 比

50.22円増



● 配当金

61 円

前 期 比

—



● 配当性向

54.5 %

前 期 比

2.8ポイント増



付加価値の高い商品開発を進め、
販売機会の可能性を
広げていきます



代表取締役社長 北林 恵一



当期は消費税率引上げ等がございましたが、御社の2020年3月期の業績はいかがでしたか？



2020年3月期における連結業績についてですが、売上高7,079百万円（前期比1.9%増）、営業利益1,020百万円（前期比6.4%減）、経常利益1,070百万円（前期比4.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円（前期比5.1%減）となりました。

昨年10月の消費税率引上げの影響については、当社ビジネスはBtoBが中心であることから増税前後における駆け込み需要、その反動による需要減といった大きな変化はありませんでした。

例年3月に享受している企業の予算消化等による期末特有の需要については、2月からの新型コロナウイルス感染拡大による影響を当社においても受けざるを得ず低調となりましたが、コンシューマー向けの新商品であるジュータンの洗淨等に使われる家庭用リンサーの販売が伸長したこと等により、売上は増収を確保することができました。

しかしながら、コンシューマー向け商品は競合も多く、粗利率は法人向け商品に比べ低い設定となっていることから、残念ながら利益面では減益となりました。

当期の当社の主要な販売先の動向についてですが、まず製造業関係は、昨年後半から自動車業界の設備投資が鈍化しており、関連の下請企

業等も含め、需要の落ち込みがみられました。その一方で食品業界では、安全・衛生への意識の高まりや業界の裾野も広いことから、年度を通して安定的な受注があり、全体としては堅調に推移しました。

また、もう一つの主要販売先であるビルメンテナンス業関係は、アルカリイオン水により洗剤を極力使わずに洗浄できるアルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」への需要は根強く、新商品等を利用したメンテナンスの提案を積極的に行ったこと、そして期末には大型のスポット需要もあったこと等から、前年並みを維持しました。

近年売上を伸ばしているレンタル業関係は、2年前に投入した日本の道路事情に合わせた左ハンドル仕様の搭乗式大型清掃機「AM9D-ⅢLH」が市場に浸透し、堅調に売上を伸ばしました。



「AM9D-ⅢLH」をはじめとした当期業績に寄与した商品や注目の新商品をご紹介しますか。



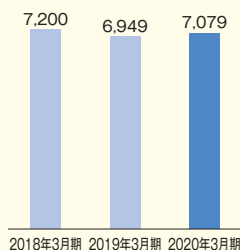
昨年、新商品として市場に投入した搭乗式自動床洗浄機「スクラブメイト MMg730Plus」はバックモニターを搭載したほか、既存商品に比べ低床化を図ったことから、安全かつ安定した作業が可能となり、競合商品が多い商品レンジのなか、差別化を図ることに成功し、好評を得ています。

前述した左ハンドル仕様の搭乗式大型清掃機「AM9D-ⅢLH」は、今年1月にNETIS（国土交通省新技術検索システム）に登録されたことで、建設、レンタル業界をはじめとした市場に改めて認知される商品となりました。

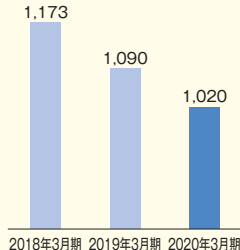
また、アルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」につきましても、シリーズ初の卓上タイプ「ZK-mini」を市場に投入しました。これま

● 財務ハイライト(連結) (単位:百万円)

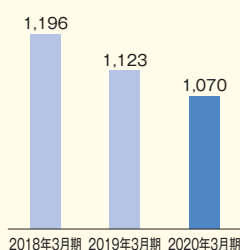
● 売上高



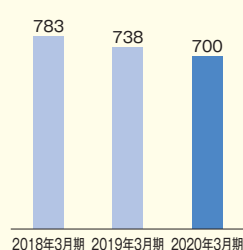
● 営業利益



● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益



でもビルメンテナンス業界をはじめ、食品業界、製造業等に納入されてきましたが、小型化したことから場所を選ばず、飲食店等の小規模店のほか、新たな市場からの引き合いも増えてきています。

なお、コンシューマー向けの衣類スチーマーに加え、当期新たに市場投入した家庭用リンサーは、コンパクトで軽量、水洗いができる等の特徴から、車のシート洗いやペットによるソファ、カーペットの食べこぼしの洗浄等、一般消費者から高い評価を得ています。



幅広いユーザーをお持ちの御社の強みと、今後の方針についてお聞かせください。



当社が取り扱う環境クリーニング機器は、農林水産業の第一次産業から、製造業の第二次産業、そしてビルメンテナンス業の第三次産業まで幅広い業種・業界がユーザーであることが大きな特徴です。これまでも何度か体験した景気後退期においても柔軟な対応を行い、創業以来赤字の経験は一度もなく、それが当社の強みともいえます。今回の新型コロナウイルス感染拡大の影響下におきましても、こうした柔軟に対応する強みを生かし、幅広いユーザーと多様なニーズに合わせた商品を通じて、売上確保に努めてまいります。

そのための牽引役となるのが、全国の営業所

と各地域の販売代理店といえます。現在、当社には全国に21ヵ所の拠点がありますが、私は社長就任以来、年1～2回各エリアの大手販売代理店を定期的に訪問しており、情報交換のほか、プライベートキャンペーンの提案等を行うことで、継続的かつ友好的な関係維持・構築に努めています。こうした全国の主要販売代理店との関係強化は、今期以降も重視していきたいと考えています。



見通しを立てにくい状況ではありますが、来期の営業戦略、商品戦略をどのように考えていますか？



今期の具体的な営業戦略ですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、上期は大規模展示会等の大半は中止もしくは延期が既に確定しています。これらの展示会は、当然、様々な引き合いをいただける貴重な機会であるため、当社の販売活動も影響を受けざるを得ない状況が続くと考えていますが、地域経済の特徴、業種・業界の特有なニーズ、提案商品の絞り込み等、あらゆる視点で販売機会の可能性を探ってまいります。

これまで培った全国の販売代理店との関係の強みを生かし、プライベートキャンペーンや各種勉強会を通じて、新型コロナウイルスの影響下においても経済活動を続けている業界等に、必要でかつ付加価値の高い商品を提供していきたいと考えています。

また、新商品開発力は当社の特徴のひとつであり、「メーカー機能を持った専門商社」といわれる所以となっています。当社の全国の営業より得られる日々の情報から、日本の市場にマッチするものを世界中から探し出し、もし商品として存在しない場合は、海外、国内メーカーと共同してユーザーニーズに合わせた商品の開発を行っています。生産活動をいち早く再開している海外メーカーとの連絡を密に取り合いながら、今期も数機種の新商品を市場に投入していく予定であります。



株主還元を含め、株主の皆様へメッセージをお願いします。



新型コロナウイルスの感染終息の見通しが明確となっておらず、当面は厳しい経営環境が続くものと予想されます。しかし、こうした経営環境であるからこそ、当社としては、継続企業として事業活動を力強く推進していく責務を強く感じております。

当社が提供している環境クリーニング機器は、今では単に清掃、洗浄作業だけにとどまらず、その役割は、社会生活における安全や衛生等にも深く関わるが増えてきています。

したがって、これまで以上に当社の存在意義が問われることになると思われ、法人向け、コンシューマー向け双方における付加価値の高い商品開発を積極的に進めるとともに、ソリューション



ン型の提案営業にもさらに注力していく所存です。

また、配当につきましては、配当性向50%程度といった利益還元の目標は引き続き維持してまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、これからも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後になりますが、新型コロナウイルスの感染終息が見通せない時期が続いておりますが、皆様くれぐれも御自愛ください。

清掃機器部門

売上高

1,470 百万円

前期比4.9%減

主要
商品

動力清掃機、真空掃除機、
カーペット清掃機、泥層・
氷層除去機

当期は、搭乗式清掃機器が減少したこと等から、減収となりました。

●搭乗式大型動力清掃機 「AM9D-Ⅲ LH」

日本専用モデルとして左走行に合わせて運転席、サイドブラシを左側に配置したことでサイドブラシの動きを直接確認しながら、作業することができ、安全性と効率性が高まり、レンタル業界を中心に好評を得ています。



●リチウムイオンバッテリー式スィーパー 「ツインフォース LS38Li」

ソフトとハード2種類のブラシが2,000rpmで高速回転することで粗ゴミから細かなホコリまで効率よく回収します。



洗浄機器部門

売上高

2,799 百万円

前期比4.3%増

主要
商品

自動床洗浄機、カーペット
洗浄機、カーペット濯ぎ洗
い機、高圧洗浄機、スチー
ム洗浄機、振動式洗浄機

当期は、コンシューマー向けの衣類スチーマーの販売が減少したものの、新規にジュータン用のリンサーの販売を開始したこと等から増収となりました。

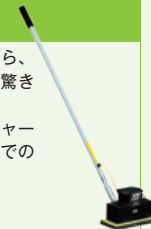
●搭乗式自動床洗浄機 「スクラブメイトBMg 650 Plus」

バックモニターや後進時の衝突防止センサー、自動ブレーキ等を採用。最小回転幅は1,825mmと小回り性抜群であるほか、低床設計により運転席を低くしたことから、安心して操作ができ、現場から大変好評を得ております。



●超小型振動ポリッシャー 「ナノエッジⅡ」

軽量コンパクトでありながら、超高速回転により短時間で驚きの洗浄効果を発揮します。従来の床洗浄機やポリッシャーでは作業しにくい狭い場所での洗浄が可能となりました。



その他部門

売上高

2,810 百万円

前期比3.4%増

主要
商品

強アルカリイオン電解水生成機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリ、水質浄化剤、電磁サーバー、その他

当期は、子会社エタニ産業株式会社の売上が増収となったことや工賃・パーツ等の売上が堅調に推移したこと等から、増収となりました。

●強アルカリ電解水生成器 「ZK-mini」

好評を得ている強アルカリイオン水生成器「ZKシリーズ」のコンパクトタイプ版。従来機と同様、pH13.1の濃縮イオンを生成できることに加えて、狭い場所にも設置が可能であるため、飲食業等の様々な分野での利用が広がっております。



●プール洗浄剤 「アクアビル」

陽イオン高分子凝集剤が水中の微粒子を凝集することで清掃フィルターにかかりやすい状態にし、水の透明度を高めます。



① 流動資産

主として現金及び預金が230百万円減少したものの、有価証券が499百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、8,810百万円となりました。

② 固定資産

主として投資有価証券が197百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、5,251百万円となりました。

③ 固定負債

前連結会計年度末に比べて3.7%増加し、989百万円となりました。

④ 純資産合計

主として利益剰余金が318百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、12,110百万円となりました。

CHECK!

2020年3月期連結決算の詳細は
当社HP《IR情報》に掲載しています。

<https://www.zaohnet.co.jp/ir/>

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第64期 (2020年3月31日現在)	第63期 (2019年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	8,810	8,509
現金及び預金	2,509	2,739
受取手形及び売掛金	1,797	1,754
有価証券	3,599	3,099
商品	861	887
その他	42	28
貸倒引当金	△0	△0
② 固定資産	5,251	5,094
有形固定資産	4,598	4,643
建物及び構築物	1,364	1,413
機械装置及び運搬具	8	9
土地	3,199	3,199
その他	25	20
無形固定資産	11	14
投資その他の資産	640	436
投資有価証券	325	128
繰延税金資産	249	240
その他	65	67
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	14,062	13,604
(負債の部)		
流動負債	961	854
支払手形及び買掛金	274	215
未払金	109	107
未払法人税等	212	203
賞与引当金	103	103
商品保証引当金	8	7
その他	253	216
③ 固定負債	989	953
退職給付に係る負債	547	533
役員退職慰労引当金	151	156
再評価に係る繰延税金負債	172	172
その他	117	91
負債合計	1,951	1,808
(純資産の部)		
株主資本	14,285	13,966
資本金	2,077	2,077
資本剰余金	2,402	2,402
利益剰余金	9,806	9,488
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	△2,175	△2,170
その他有価証券評価差額金	△1	—
繰延ヘッジ損益	0	3
土地再評価差額金	△2,174	△2,174
④ 純資産合計	12,110	11,795
負債純資産合計	14,062	13,604

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第64期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	第63期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	7,079	6,949 ⑤
売上原価	3,462	3,318
売上総利益	3,617	3,631
販売費及び一般管理費	2,596	2,540
営業利益	1,020	1,090
営業外収益	50	33
営業外費用	1	0
経常利益	1,070	1,123
税金等調整前当期純利益	1,070	1,123
法人税、住民税及び事業税	376	373
法人税等調整額	△6	10
当期純利益	700	738
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	700	738

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第64期 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)	第63期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	873	845 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221	△18 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	△381	△400 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	269	425
現金及び現金同等物の期首残高	5,839	5,413
現金及び現金同等物の期末残高	6,109	5,839

⑤ 売上高

主に強アルカリイオン電解水生成機「ZKシリーズ」への需要が引き続き根強く、高圧洗浄機、振動式洗浄機の販売が堅調で、コンシューマー向けのジュータン用リンサー機器の売上が伸長したこと等から、前年同期比1.9%増となりました。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は873百万円（前年同期比28百万円増加）となりました。
収入の主な要因は、税金等調整前当期純利益が1,070百万円、減価償却費が85百万円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額が43百万円等によるものであります。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は221百万円（前年同期比203百万円増加）となりました。
支出の主な要因は、投資有価証券の取得による支出が199百万円あったこと等によるものであります。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、381百万円（前年同期比19百万円減少）となりました。支出の主な原因は、配当金の支払額が381百万円あったこと等によるものであります。

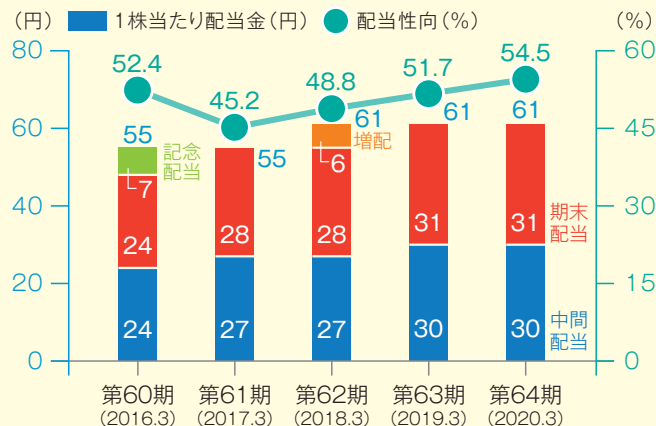
株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益配分と会社の体質強化のための内部留保との調和を図りながら、配当につきましては配当性向重視の方針を維持してまいります。

配当金額の決定につきましては、株主の皆様様に長期的な観点で当社株式を保有していただくため、当社グループの事業展開や財務状況のほか会計基準の変更等特殊要因による業績変動等を総合的に勘案し、今後、毎期の業績に応じて配当性向50%程度を目標としてまいります。

なお、当期の1株当たり期末配当金につきましては、当期の業績等を勘案し中間配当30円に期末配当31円を加え年間配当は61円といたしました。

1株当たり配当金と配当性向



● 会社の概況 (2020年6月26日現在)

社 名 蔵王産業株式会社
本 社 東京都江東区毛利一丁目19番5号
 TEL 03-5600-0311

資 本 金 20億7,776万円

役 員 代表取締役社長 北林恵一
 取締役副社長 沓澤孝則
 取 締 役 竹村 洋
 取 締 役 御幡純平
 取 締 役 村上正俊
 常 勤 監 査 役 田口 稔
 監 査 役 川添利賢
 監 査 役 宮崎雅俊

営業品目 動力清掃機、カーペット清掃機、泥屑・氷屑除去機、真空掃除機、自動床洗浄機、カーペット洗浄機、カーペット濯ぎ洗い機、高圧洗浄機、スチーム洗浄機、振動式洗浄機、部品及びメンテナンスサービス、清掃・洗浄機用消耗品及びアクセサリー、その他

営 業 所 札幌営業所 仙台営業所 宇都宮営業所
 水戸営業所 船橋営業所 川越営業所
 東京営業所 横浜営業所 長野営業所
 新潟営業所 静岡営業所 金沢営業所
 名古屋営業所 京都営業所 大阪営業所
 神戸営業所 岡山営業所 広島営業所
 高松営業所 福岡営業所 鹿児島営業所
 配送センター及び試験研究室

グループ会社 エタニ産業株式会社 東京都目黒区
<http://www.etanisan.co.jp>

● 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 22,000,000株
 発行済株式総数 6,266,000株
 自己株式数 1,327株

● 株主の状況

総株主数 9,926名

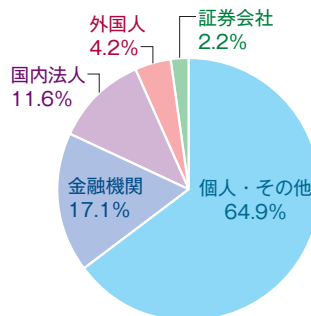
● 大株主の株式所有状況

(単位：株)		
	持株数	持株比率
佐々木 健二	538,530	8.60%
(株)三井住友銀行	276,000	4.41%
(株)千葉銀行	230,000	3.67%
学校法人麻生塾	230,000	3.67%
蔵王産業社員持株会	189,380	3.02%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	186,100	2.97%
東京美装興業(株)	158,400	2.53%
土方孝悦	154,900	2.47%
東京海上日動火災保険(株)	120,000	1.92%
照井雅夫	89,820	1.43%
合 計	2,173,130	34.69%

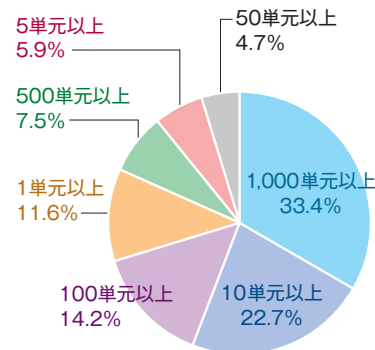
(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況

所有者別株式数構成比



所有株数別株主数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL：0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいておりますので、確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

● 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



歳王産業株式会社

〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-5 TEL:03-5600-0311 FAX:03-5600-0516